2021年3月27日（土）山陽新聞　[おかくらプラス]

「わが街健康プロジェクト。」ポスター

最優秀に島村さん（川崎医療福祉大）

病院との関わり方表現

島村京花さん

倉敷中央病院（倉敷市美和）を中心に県南25病院が推進する「わが街健康プロジェクト。」のPRポスターコンテストの入賞作が決まり、グランプリに川崎医療福祉大医療福祉デザイン学科2年島村京花さんの作品が選ばれた。

島村さんは、川のほとりを歩く人々と水面に映る倉敷市中心部のまち並み、虹をシンプルなタッチで描写。コンテストのテーマ「医療機関と上手に付き合う」を巧みに表現した。

コンテストは大学生が対象で6回目。県内2大学の学生99人が計101点を応募した。新しさやメッセージ性などをプロジェクト事務局が3月上旬に審査し、グランプリ1点と優秀賞5点、サポーター賞1点を選んだ。

グランプリに加え、優秀賞に輝いた県立大2年上田千恵さんと川崎医療福祉大2年渡辺優人さんの作品の計3点は公式PRポスターとして、各病院などに掲示する予定。

プロジェクトは2013年、急性期から在宅まで切れ目ない医療を提供する「地域完結型医療」の推進を目的にスタート。市民向けの医療講座を開いてきた。

他の入賞者は次の皆さん。（敬称略）

【優秀賞】谷垣舞、今岡諄、吉田希穂（県立大）【サポーター賞】池内佑衣（川崎医療福祉大）

（山内悠記子）

グランプリに選ばれた島村さんの作品